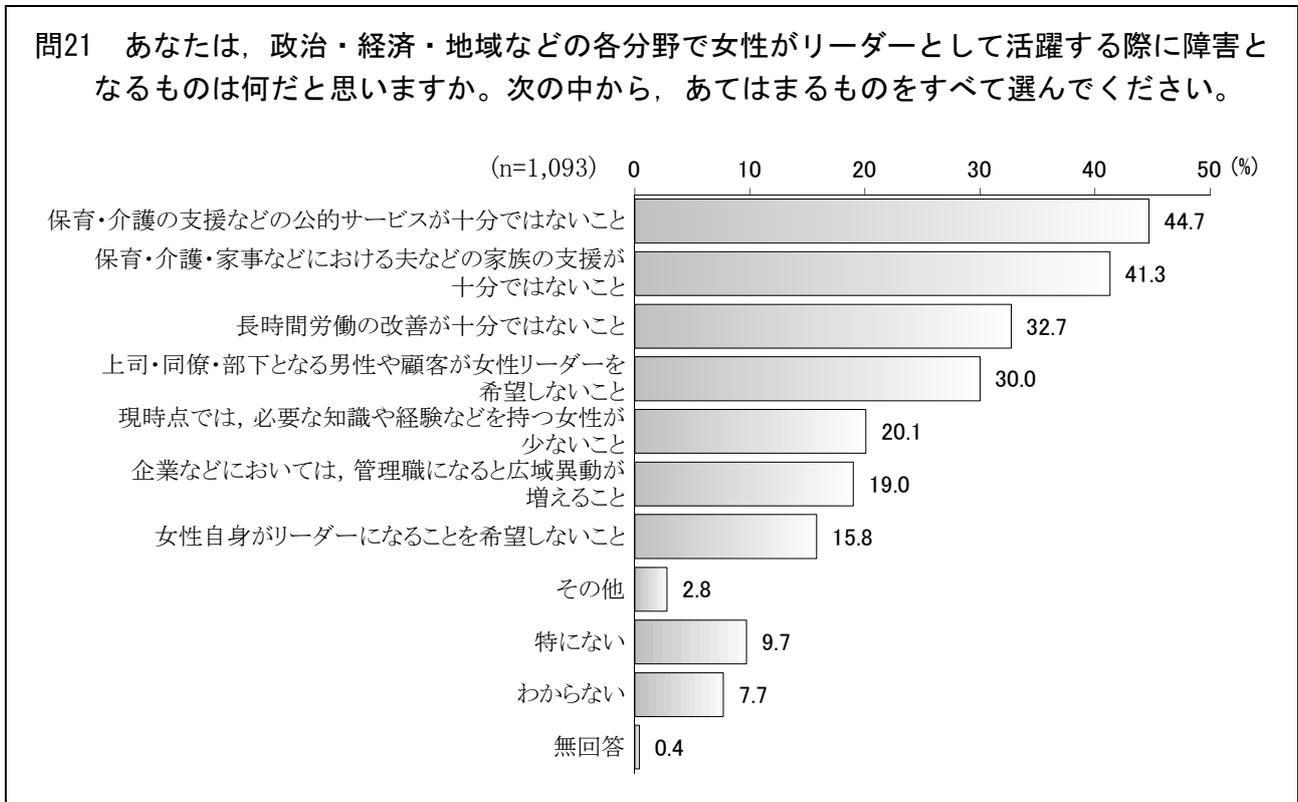


## VIII 女性の活躍推進

### 1. 女性がリーダーとして活躍する際の障害

#### －「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が4割台半ば－



女性がリーダーとして活躍する際の障害としては、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」（44.7%）が4割台半ばと最も高く、次いで、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」（41.3%）が4割超、「長時間労働の改善が十分ではないこと」（32.7%）と「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」（30.0%）が3割台で続いている。

#### －県央で「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」と「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が約5割－

地域別でみると、県央で「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」（50.0%）と「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」（49.4%）が約5割、「長時間労働の改善が十分ではないこと」（40.7%）が約4割、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」（36.6%）が3割台半ばと、それぞれ最も高くなっている。

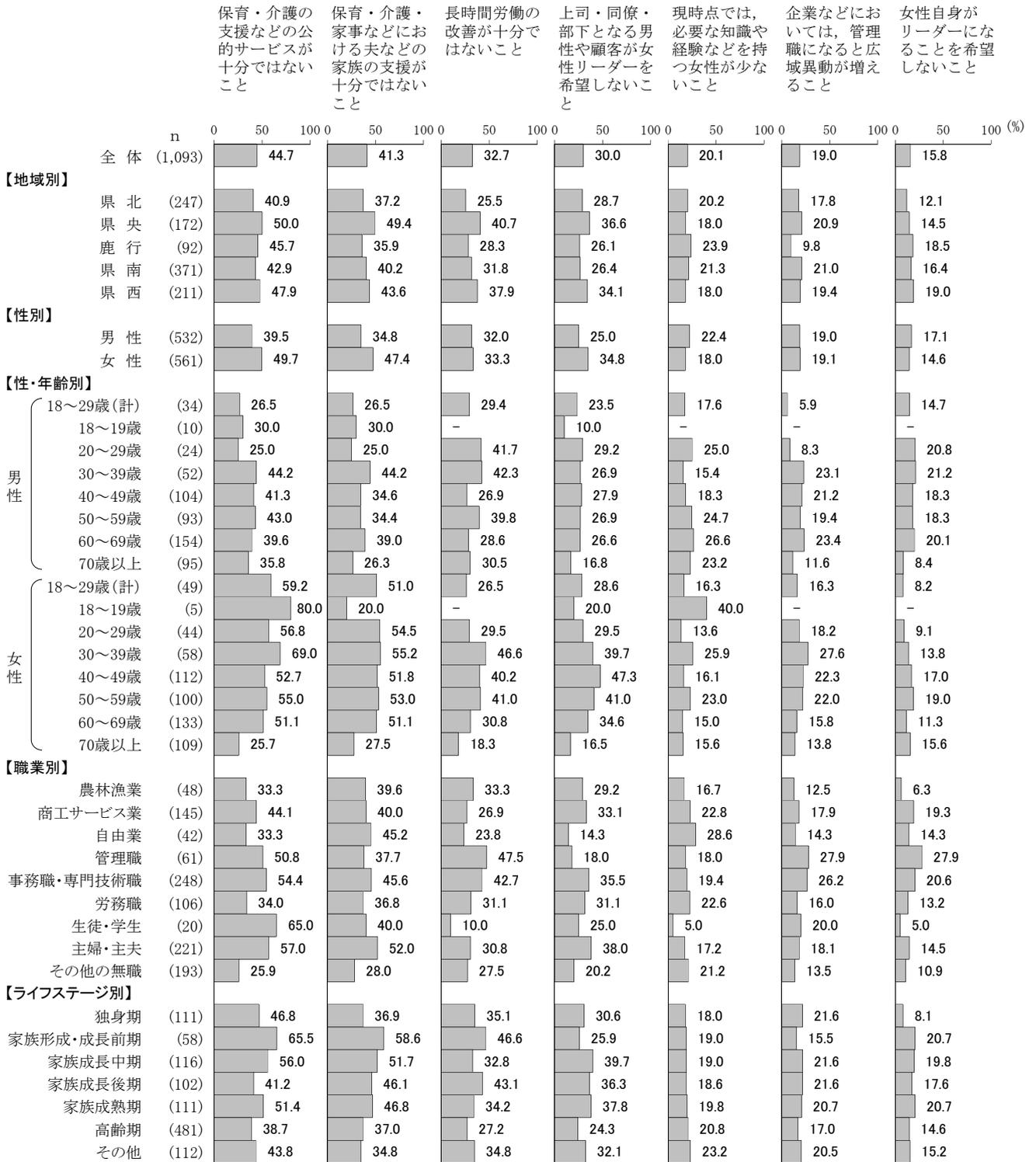
#### －女性で「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」が男性よりも約13ポイント、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」と「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」が男性よりも約10ポイント高い－

性別でみると、「保育・介護・家事などにおける夫などの家族の支援が十分ではないこと」は、女性（47.4%）が男性（34.8%）よりも約13ポイント、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」は、女性（49.7%）が男性（39.5%）よりも約10ポイント、「上司・同僚・部下となる男性や顧客が女性リーダーを希望しないこと」も、女性（34.8%）が男性（25.0%）よりも約10ポイント高くなっている。

一女性の30代で「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」が約7割一

性・年齢別でみると、「保育・介護の支援などの公的サービスが十分ではないこと」は、女性の30代（69.0%）で約7割と高くなっている。

図Ⅷ 21-1 女性がリーダーとして活躍する際の障害  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)

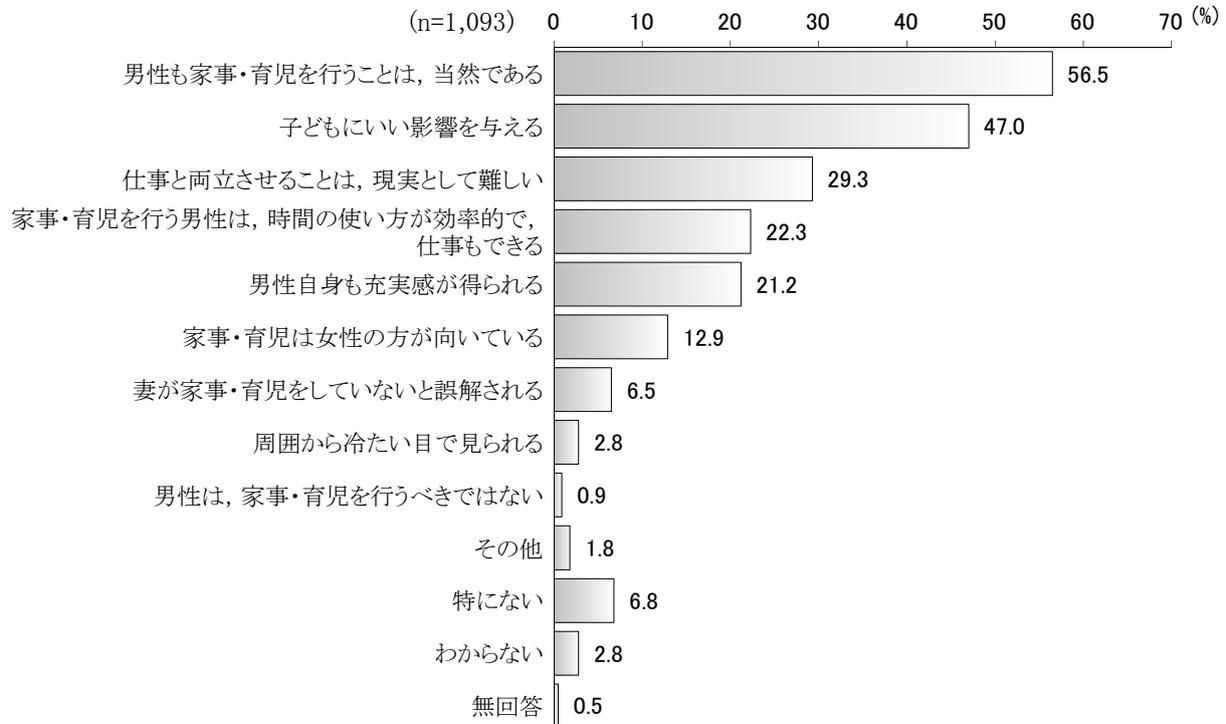


(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。  
性・年齢別では、18～19歳、20～29歳よりも18～29歳の層の分析を優先する。

## 2. 男性が家事・育児を行うことについてのイメージ

### －「男性も家事・育児を行うことは、当然である」が5割台半ば－

問22 あなたは、男性が家事・育児を行うことについて、どのようなイメージをお持ちですか。次の中から、あてはまるものをすべて選んでください。



男性が家事・育児を行うことについてのイメージは、「男性も家事・育児を行うことは、当然である」(56.5%)が5割台半ばと最も高く、次いで、「子どもにいい影響を与える」(47.0%)が4割台、「仕事と両立させることは、現実として難しい」(29.3%)が2割台後半で続いている。

### －県南で「男性も家事・育児を行うことは、当然である」が6割台半ば－

地域別でみると、「男性も家事・育児を行うことは、当然である」は、県南(63.3%)で6割台半ばと最も高くなっている。

### －県央で「子どもにいい影響を与える」が約6割－

地域別でみると、「子どもにいい影響を与える」は、県央(57.0%)で約6割と最も高くなっている。

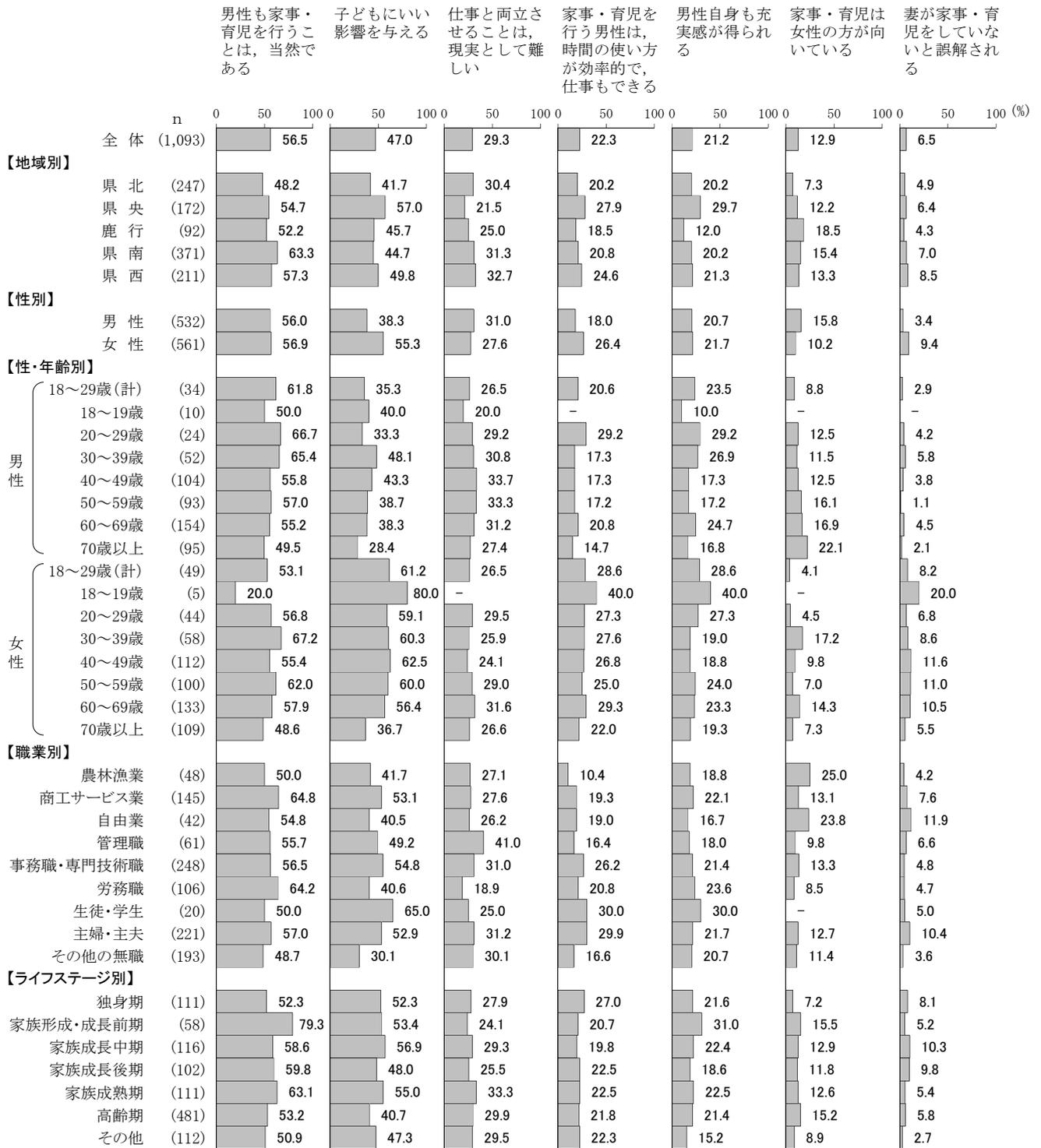
### －女性で「子どもにいい影響を与える」が男性よりも17ポイント高い－

性別でみると、「子どもにいい影響を与える」は、女性(55.3%)が男性(38.3%)よりも約17ポイント高くなっている。また、「家事・育児を行う男性は、時間の使い方が効率的で、仕事もできる」は、女性(26.4%)が男性(18.0%)よりも約8ポイント高くなっている。

### －男女ともに30代で「男性も家事・育児を行うことは、当然である」が6割台後半－

性・年齢別でみると、「男性も家事・育児を行うことは、当然である」は、男性の30代(65.4%)と女性の30代(67.2%)で6割台後半と高くなっている。

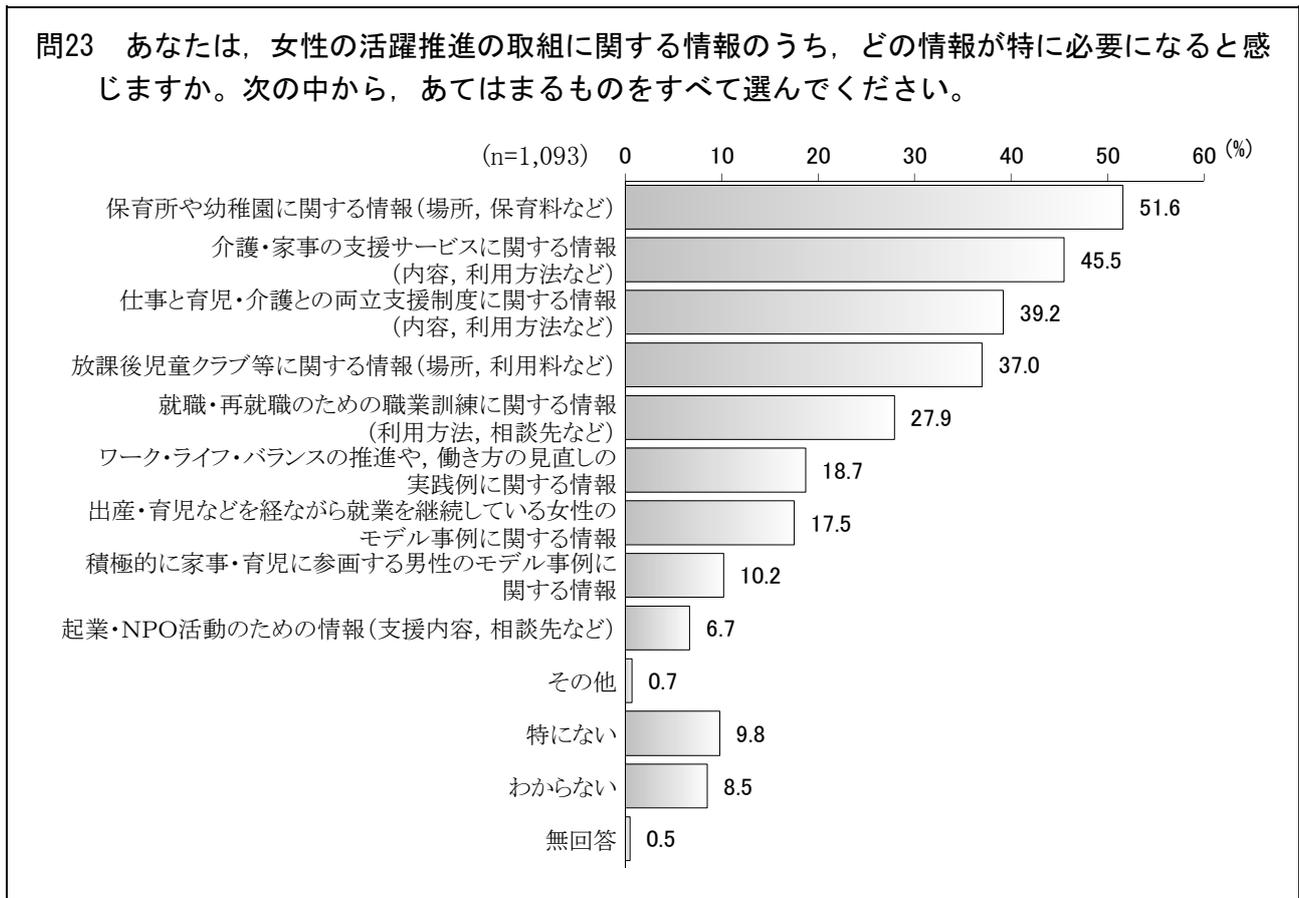
図Ⅷ 22-1 男性が家事・育児を行うことについてのイメージ  
(地域別、性別、性・年齢別、職業別、ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。  
性・年齢別では、18~19歳、20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。

### 3. 女性の活躍推進の取り組みに関する情報のうち、特に必要な情報

#### －「保育所や幼稚園に関する情報」が5割超－



女性の活躍推進の取り組みに関する情報のうち、特に必要な情報としては、「保育所や幼稚園に関する情報（場所、保育料など）」（51.6%）が5割を超えて最も高く、次いで、「介護・家事の支援サービスに関する情報（内容、利用方法など）」（45.5%）が4割台、「仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報（内容、利用方法など）」（39.2%）と「放課後児童クラブ等に関する情報（場所、利用料など）」（37.0%）が3割台で続いている。

#### －県央と県南で「保育所や幼稚園に関する情報」が約6割－

地域別でみると、「保育所や幼稚園に関する情報（場所、保育料など）」は、県央（57.6%）と県南（57.1%）で約6割と高くなっている。

#### －県央で「放課後児童クラブ等に関する情報」が約5割－

地域別でみると、「放課後児童クラブ等に関する情報（場所、利用料など）」は、県央（47.1%）で約5割と最も高くなっている。

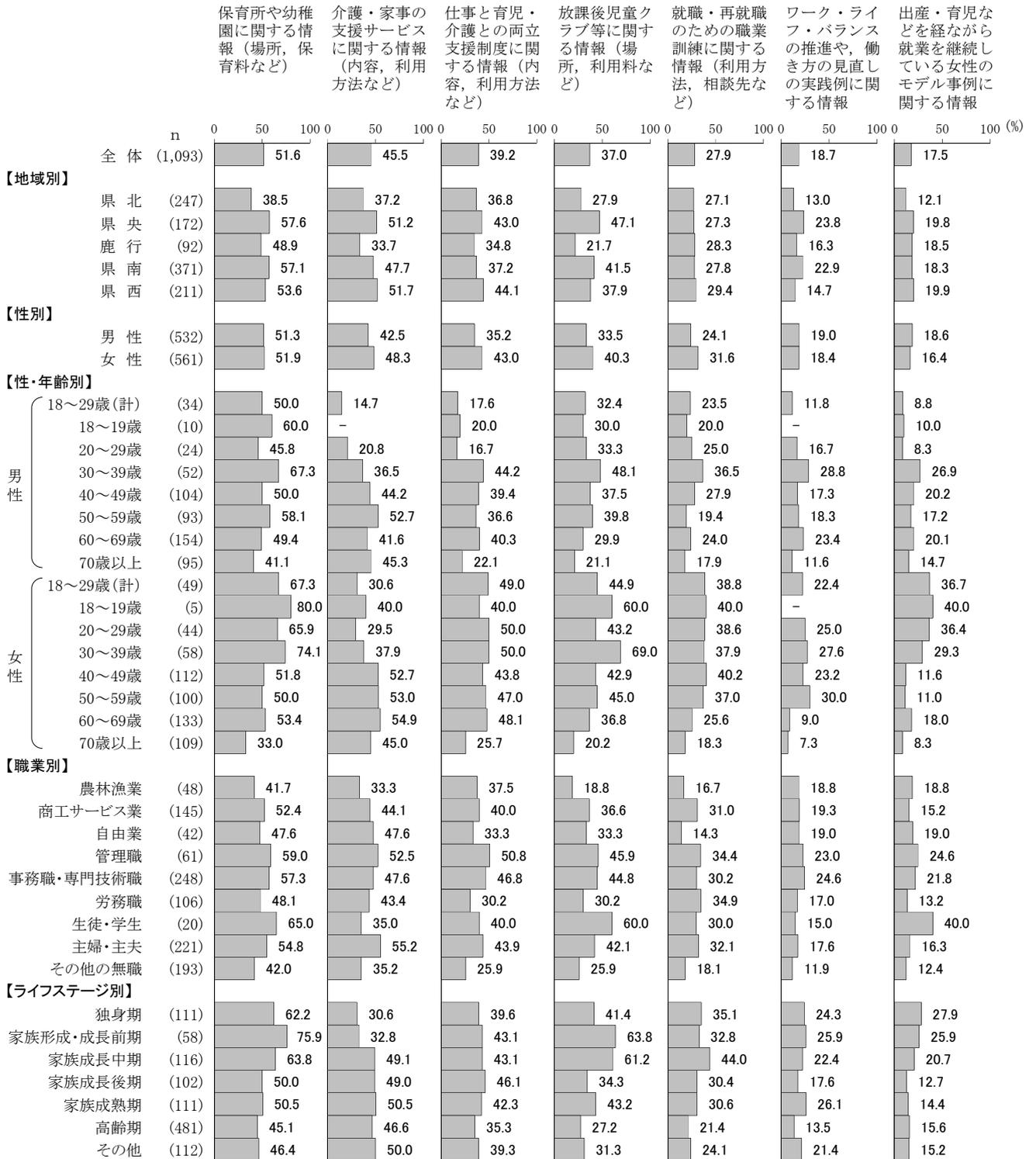
#### －女性で「仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報」と「就職・再就職のための職業訓練に関する情報」が男性よりも約8ポイント高い－

性別でみると、「仕事と育児・介護との両立支援制度に関する情報（内容、利用方法など）」は、女性（43.0%）が男性（35.2%）よりも約8ポイント、「就職・再就職のための職業訓練に関する情報（利用方法、相談先など）」も、女性（31.6%）が男性（24.1%）よりも約8ポイント高くなっている。また、「放課後児童クラブ等に関する情報（場所、利用料など）」は、女性（40.3%）が男性（33.5%）よりも約7ポイント、「介護・家事の支援サービスに関する情報（内容、利用方法など）」は、女性（48.3%）が男性（42.5%）よりも約6ポイント高くなっている。

一女性の30代で「保育所や幼稚園に関する情報」が7割台半ば一

性・年齢別でみると、「保育所や幼稚園に関する情報(場所, 保育料など)」は, 女性の30代(74.1%)で7割台半ばと高く, 次いで, 男性の30代と女性の18~29歳(いずれも67.3%)で約7割となっている。

図Ⅷ 23-1 女性の活躍推進の取り組みに関する情報のうち, 特に必要な情報  
(地域別, 性別, 性・年齢別, 職業別, ライフステージ別—上位7項目)



(注) 回答者数が30人未満の層には分析でふれていない場合がある。  
性・年齢別では, 18~19歳, 20~29歳よりも18~29歳の層の分析を優先する。